

# INFORMATION

役員改選・移転情報・新事業・新商品紹介・あれこれ

## 「人を大切にする経営学用語事典」を発刊

企業コード：010818639 (株) 共同文化社 (札幌市)

総合印刷業、(株) アイワード (札幌市) の関連会社である (株) 共同文化社 (同、代表取締役奥山敏康氏) では、従来の経営学とは異なる「人を大切にする経営」という視座から新たに必要不可欠となる経営学用語を解説した「人を大切にする経営学用語事典」を発刊した。

本事典を監修したのは、一般社団法人「人を大切にする経営学会」(東京都千代田区) の会長を務める坂本光司氏 (元法政大学大学院教授) と理事の三村聡氏 (岡山大学名誉教授・元副学長)。8500社の経営者と社員の声を徹底研究した135人の執筆者と査読者が経営学に関わる1000の用語を解説している。

およそ100年前の経営学誕生以来、最も目的として重視されてきたのは「株主価値の最大化」や「企業の成長発展」などで、経営学事典もそうした価値観に沿っての編纂が主流だった。本事典は、これまでとは一線を画して企業経営の目的を「関係する人々の幸せの追求・実現」とする人本経営の視点からの解説内容となっている。

例えば従来の経営学での「人件費はコスト」という概念は、本事典では「人件費は関係する人々が豊かで安定した生活を営むための、必要不可欠な目的支出であり、適正に支払うことが望ましい」と解説。人件費はコストではなく、経営の「目的」、「投資」という考え方だ。また、価格競争について、これまで多くの経営学では「企業の勝ち残り策のひとつ」としてきたものを「価格競争は、必ずといっていいほど誰かを犠牲にするので、やってはいけない競争であり、非価格競争こそ企業が選択すべき競争」としている。

本事典に共通するのは、企業経営の目的は、「関係する人々の幸せの追求・実現」という観点であり、「社員とその家族」「取引先とその家族」「顧客」「地域住民」「株主」の5人の幸せを追求する「五方良し経営」や自利を求めない「お互い様経営」などを尊重した内容となっている。



執筆者・査読者は、学者・研究者・弁護士・司法書士・公認会計士・税理士・社会保険労務士・中小企業診断士・医者・精神保健福祉士・保健師・各種経営コンサルタント・中小企業経営者・経営幹部・新聞記者・雑誌記者など多彩なメンバーによる。

編纂期間は2023年4月～2025年4月の2年間で、本事典の編纂は10年前に「人を大切にする経営学会」が創設されて以来の念願だった。

A5版並製本(ケース付)の784ページで定価は8800円(税込)。

(株) 共同文化社

〒060-0033 札幌市中央区北3条東5-5-91

TEL: 011-251-8078

FAX: 011-232-8228

<https://www.kyodo-bunkasha.net/>

書籍のお申込みはこちら↓まで

